

# キーパーコーティング車の 普段のお手入れ方法

カン  
タン

★キーパーコーティングすると・・・

汚れにくくなり  
洗車回数が  
減っておトク!!

汚れても  
水洗いで汚れが  
すぐ落ちるから  
洗車時間が  
減っておトク!!

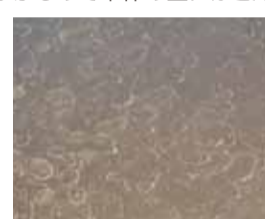


真夏の紫外線や酸性雨、春の花粉、冬の除雪剤など、塗装を傷める要素はたくさんあります。キーパーコーティングは3ヶ月ごとのピュアキーパーならば、高分子重合体(ポリマー)被膜で、1年ごとのクリスタルキーパーと5年耐久のダイヤモンドキーパーならば、ガラス被膜とレジン被膜で、これらの要素から車の塗装を強力に守ります。普段のお手入れは基本的に洗車だけで大丈夫ですが、ご自分で洗車される場合、少しの気遣いでコーティングの保ちを良くすることができます。

**水はじきを長持ち  
させるために、  
洗車後はきちんと  
水を拭き取り  
しましょう!!**

## 1 ご自分で洗車をされたら、ちゃんと水を拭き取りましょう

水道水などで洗車をした場合、水が乾き切る前に必ず拭き取りましょう。大きな1BOXカーの拭きにくい屋根部分も拭き上げる必要があります。ドライブスルー洗車は、最後にエアードライがかかるので車体の上にはほとんど水は残りませんが、すべての水を取り切れずミネラル分が付着することがあります。**少しの水でも毎回拭き上げることをおすすめします。**



## 2 黄砂や火山灰が降ったら早めに取りましょう

黄砂はケイ酸塩(微小な砂・ミネラル)を含んだ雨となって降ってきます。砂粒が残って車を非常に汚くするだけでなく、雨水に溶け込んだミネラルが撥水阻害被膜となります。**早めに洗車をしましょう。**



## 3 雨が降った日、水道水で泥を落として拭かないのは禁物!

雨が降った日、車は泥だらけになります。しかし、大切な愛車だからとガレージに車をしまう前に水道水でざっと泥を落としてそのままにしておくと、水道水が乾くにつれ、コーティングの上に撥水阻害被膜ができ、水はじきをなくしてしまうことがあります。**泥がついていてもそのままガレージにしまい、晴れてからきちんと洗車を行いましょう。**



## 4 鳥フンは、ついた部分だけでも早く洗い流しましょう

鳥のフンは、種類によっては酸性度が高く、含まれている酵素の働きもあいまって塗装面をひどく侵食するものがあります。キーパーコーティングがかなり防御しますが、完全に防ぎきれない場合があります。**鳥のフンがついた部分だけでもいち早く洗い流すことをおすすめします。**



## 5 消雪パイプの鉄錆は、春になったらスッキリ落としましょう

北陸・信越地方の道路に設置されている消雪パイプから出る水に含まれる大量の鉄錆も撥水を阻害する大きな原因となります。**これは自分で除去するのは困難です。私たちにお任せください。**



## ご自分で手洗い洗車をされるなら「コーティング専門店のシャンプー」と「クロス」をご利用ください

### 「中性の研磨剤なしのシャンプー」「キーパーのシャンプー」を

ご自分で洗車されるなら、中性と明示しており、スクラブ又は研磨剤と書いてないシャンプーを使うのが良いでしょう。なかでも多くのユーザーのご要望で、キーパーコーティングのみならずあらゆるコーティングに安全なシャンプー「キーパーコーティング専門店のシャンプー」が最適。コーティングを損なうような物質を全く含まず、泡立ちとすすぎでの泡切れが抜群の使いやすいシャンプーです。ぜひ一度お試しください。



### コーティング車の洗車の拭き上げはキーパークロスで

最後の拭き上げで「キーパークロス」を使うと、撥水効果の保持と弱まった撥水を回復することができます。これはキーパークロスの「かき取り効果」が、コーティング被膜を全く傷めることなく撥水阻害被膜を取り除くことができるからです。ただし撥水阻害被膜が厚くなってしまい、キーパークロスで解決できない場合はキーパー施工店に相談していただければ簡単に手直しできます。

